

## 2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 豊橋中央高等学校 ] 担当教諭名 [ 高倉嘉男・小松麻美・藤井範子 ] (2年A・B組37名)

相手国・地域 [ 台湾 ]

海外学校名 [ National Shanhua Senior High School ] 担当教諭名 [ Yang Hui-Yen / Chang Ching-Yi ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的学習の時間	修学旅行事前指導	4時間
	HR	修学旅行事前指導	4時間
	補習	午前授業の期間の午後の時間	6日
	行事	修学旅行	4日
	行事	ESD 振り返り会	1日

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	The mutual cultural elements in the past bring all of us to a better future 過去の文化的共通点が私たちによりよい未来に導く
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	地理的にも文化的にも近く、相思相愛の日本と台湾。お互いの文化、ランドマーク、交通機関に共通点を見つけると同時に、台湾のために尽くした日本人、日本で愛された台湾人を知り、友情を改めて確認。この友情が未来まで続きますように。
	

### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
Skype を使って海を隔てた高校の生徒たちと交流することで、海外の存在を実感し、翻って日本について考え、新たな知識を得るきっかけにもなった。修学旅行への期待が高まり、当初は参加を躊躇していた生徒も参加を表明し、全員参加の旅行となった。Skypeでの交流や修学旅行での学校交流によって、全員が英語の大切さを実感した。	壁画のデザインが、自国の文化等の紹介に留まっている。両国が抱える共通のテーマを設定し、それについて調べ、成果を絵にしていこうというステップを踏み切れていない。今後はその実現を目指したい。

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
回数を重ねるごとに台湾や台湾の高校生に親しみが増した。 自分の国や地域に対して興味関心が増した。	言語(中国語・英語)の習得の必要性を感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	Skype を使ってお互いの自己紹介を行った。	とまどいがあり、おろおろしていた。緊張していた。	総合1 HR1
共有 テーマ学習	10月	お互いの文化、ランドマーク、交通機関や、二国間の親善に寄与した人物について Skype を使って紹介し合った。	英文にするのに苦戦した。英語でしゃべるのが困難であった。台湾の発表を聴き取るのが大変だった。	総合1 HR1
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	壁画の各パートのデザイン細部について Skype を使って説明し合った。	デザイン案を提示。お互いの案を採り入れながら決定していった。実際に絵にするのに苦労したが、思いがけずリーダーシップを発揮する生徒がでてきた。	総合1 HR1
創造 壁画制作	12月	日本側が壁画を制作し、完成したものを Skype で披露した。また、お互いの学校について Skype を使って紹介し合った。	学校生活紹介。英語のスピーチに苦戦。日本の弁当に驚いていた。文化の違いを多少感じたようである。絵を見せたら反応がすごかった。	総合1 HR1 補習6日
評価 振り返り 自己評価	3月	修学旅行で相手校を訪れ、共に壁画を鑑賞し合った。 ESD 振り返り会で活動報告をした。	台湾の生徒たちの大歓迎に喜んだ。英語や中国語が通じないことを悔しがった。 全校生徒の前で堂々と発表できた。	修学旅行 振り返り

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	自らすすんで調べまとめていた。
異文化を理解する力	5	日本と台湾の歴史に興味を持ち、一生懸命学習していた。中国語の学習にも積極的に取り組んだ。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	パソコンを活用してまとめていた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	歌舞伎メイクしたり、絵を描いて説明したりと工夫していた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	まず相手の発言をきちんと理解することに専念したので、思考するところまでいけなかった。
主体的に考え行動する力	4	デザインや色彩の案を出し合い、絵を完成させた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	学級内で話し合い、協力して絵を完成させた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	新幹線の位置や向きなどお互いに意見を出し合い、未来へ向かって行く形にした。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	活動を振り返り、それぞれの段階で感じたことを言葉にして、全校の前で発表した。